

平成 27 年度入試【編入学一般入試】問題

小論文（出題意図）

（総合理工学部 建築・生産設計工学科）

問題 1.

政府統計資料から、どれだけの傾向を考えられるかを見る。示された「主な出来事」を参考にしていなくても良い。福島での東電原発事故の影響による原子力依存の大幅減少以外に、どれだけの事項を指摘できるかを注目している。

問題 2.

日本の空き家数の推移に関する論述

近年、少子・高齢化の進行、人口減少社会の進展や産業構造の変化等により、空き家が増加してきている。全国の空き家総数は今後、人口減少や高齢化等のさらなる進展により、一層増加すると予想されており、居住環境の悪化を防ぎつつ、地域活性化のための試みを行なっていくことが求められている。

本設問においては、都市圏及び地方における空き家数の推移を示すことで、住宅を中心とした建築物利用がストック活用に重点を置いた社会情勢となってきたことを示し、そのような状況の中でどのような方策をとるべきかを問うことにより、地域社会との連携と活性化への関心、及び具体的な方策に関する提案能力を問うものである。